



暑さが本格的になり、プール学習にも子供たちは意欲的に取り組んでいます。授業では、低学年の水に慣れるところから、中学年での遊び要素、高学年は泳ぎのレベルアップを目指し、今週からは全学年での着衣泳の学習などに入ります。何より大切なことは、この夏休みに海や川、水路などに出かけて水難事故や交通事故に遭わないことです。ご家庭でも注意喚起と出かける際の約束事の徹底をお願いいたします。そして、前期中盤を終え、これから夏休みに入りますので、各教科の振り返りや課題克服へ重点的に取り組みながら、9月の前期後半に向けて、各自が、読書・文化・スポーツ・体験活動や地区行事、そして、家族と過ごす時間の中で、有意義な夏休みを過ごしてもらいたいと思います。なお、今号で紹介できなかった諸活動は、三川小学校ホームページ（上記QRコード）のニュース&トピックに掲載していますのでどうぞアクセスいただき、ご覧ください。（右写真：昨年の着衣泳）



7/10(月)～19(水)夏の交通安全運動

スローガン：「ペだるこぐ ぼくのあいぼう へるめっと」

県内の八街市で下校途中だった児童5人が飲酒運転のトラックにはねられ死傷した事故から6月28日で2年となりました。県内では子ども達を事故から守るため、様々な取組が続いています。本校でも、通学時間帯に、教員やPTA、市教委、地域関係者、千葉県警署員らによる見守り活動を行っています。夏休みを迎えるこの時期は、暑さや解放感による安全意識・集中力の低下や、交通の流れの変化などから重大交通事故の発生が心配されます。実際、本校でも、通いながた通学路や学区内において、道路の歩き方や自転車の走行において、地域から心配してくださる声が学校に届いています。夏休みを前に、学校では安全教育や安全指導を日々行っているところです。夏休みは、家庭で過ごす時間が大半となりますので、交通事故防止について、ご家庭でも十分に気を付けるよう声かけをお願いします。

◆夏の交通安全運動重点

- 1 自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
- 2 飲酒運転や速度超過など悪質危険な運転の根絶
- 3 こどもや高齢者を始めとする歩行者の安全確保
- 4 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

◆交通安全ニュース

※特定小型原動機付自転車（いわゆる電動キックボード等）のルールが施行されました。

○16歳未満の者の運転は禁止等（令和5年7月1日から）



【警察庁ウェブサイト】

自転車保険等で事故のリスクに備えましょう。

<資料の出典：千葉県警察ホームページより>

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seikouan/koutsuanzen/jikoboushi/kenminundou/r5/natsunoyoukou.html>

1 自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

自転車は、身近で便利な乗り物ですが、「自転車は車両」です。道路交通法が改正され、本年4月1日から、全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメットの着用が努力義務になりました。交通ルールとマナーを守り、安全に自転車を利用しましょう。

【推進事項】

- 全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメットの着用促進
- 自転車損害賠償保険への加入促進
- 「ちばサイクルール」の周知・啓発
- ヘルメット置き場の設置の促進



☆ あなたとみんなの命を守る「ちばサイクルール」☆

【自転車に乗る前のルール】 【自転車に乗る時のルール】

- | | |
|--------------|----------------|
| ① 自転車保険に入ろう | ① 車道の左側を走ろう |
| ② 点検整備をしよう | ② 歩いている人を優先しよう |
| ③ 反射器材を付けよう | ③ ながら運転はやめよう |
| ④ ヘルメットをかぶろう | ④ 交差点では安全確認しよう |
| ⑤ 飲酒運転はやめよう | ⑤ 夕方からライトをつけよう |



◆ 自転車事故に備える保険

保険の種類	事故の相手		自分
	生命・からだ	財産・モノ	生命・からだ
個人賠償責任保険	○	○	×
傷害保険	×	×	○

※教育CSR(Corporate Social Responsibility)とは？

企業の社会的責任として、従業員の家庭教育支援、学校・地域社会への貢献など特に教育分野における貢献活動を教育CSRと呼びます。子どもたちが社会的に自立した個人として成長し、地域社会で共に生きていけるよう、家庭・学校・地域が、それぞれの役割や責任を果たしながら相互に協力していくことが求められています。特に、企業の持つ技術やノウハウは貴重な教育的資源であることから、教育CSRに取り組む企業と連携した取組が重要と考えられ、そこで、令和5年度における教育CSRに取り組む企業の出前授業実践モデル校として、千葉県教育委員会から三川小学校が指定を受け、6月26日(月)に、5年生・6年生を対象に、出前授業が行われましたので紹介します。

★株式会社パル・ミートによる出前授業★ 「ごはんを食べる」を考えよう!

株式会社パル・ミートは、習志野市に事業所を置く、生活協同組合「パル・システム」の系列会社で、畜産の飼育から、肉製品の加工、消費者への提供までを包括的に行っている企業です。私たちが日頃食べているお肉がどのように育てられているのか、ごはんや食料のありがたさ、食糧自給率の低下、食品ロスの問題、国産のお肉の自給率を上げ、おいしいお肉を作りたいという生産者の熱意など、食育を通じて、食の未来を一緒に考えてくれる仲間を作りたいという思いを、出前授業でお伝えしてくれました。

〈児童の感想から・・・〉

- 食品ロスの重大さがわかった。これからは食品ロスが増えないように食べたい。
- 食品は、日本のものより外国から輸入されているものの方が多いことがわかった。
- 日本はすごく食品ロスが多いことを知った。食品ロスを減らすために、嫌いなものを克服したり、残さず食べる。
- 自分たちが普段食べ物を残したりしていることが世間では問題視されていることを知り、今度から気をつけようと思った。
- 食べ物にありがたみを持った方がいと強く思った。
- 食品ロスが年間522万トンあることを知った。
- 嫌いなものでもできるだけ食べてみる。
- こんなに捨てられているということがわかってびっくりした。
- 食べ物をむだにしない。
- 残さず食べる。
- これからは食べられる量を作ったり買ったりする。
- 自給率を上げていこうと思った。
- いらぬものは買わない。



夏休み&9月からも規則正しい生活習慣「早寝早起き朝ごはん」を!

子ども達の健やかな成長には、「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした規則正しい生活習慣が大切です。近年、子ども達の生活習慣の乱れが学習意欲、体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されています。



では、なぜ「早寝早起き朝ごはん」が必要なのでしょう？



- *その1 朝食を毎日食べている子どもの方が、学力調査の平均正答率や体力合計点が高い傾向にあります。
(文科省全国学力学習状況調査、スポーツ庁全国体力・運動能力、運動習慣等調査から)
- *その2 科学的にも証明されています。睡眠には心身の疲労を回復させる働きほかに、脳や体を成長させる働きがあります。眠る時間が遅くなると、脳内物質の分泌に影響を与えてしまうので、午後9時ごろには就寝するように心がけましょう。
- *その3 早く目覚め、朝の光を浴びると、脳の覚醒を促す脳内ホルモンが活発に分泌されます。その結果、頭がスッキリと目覚め、集中力があがります。また、自律神経が副交感神経から交感神経に切り替わり、活動に適した体になります。脳内ホルモンの分泌を増やすには、陽の光を浴びて体を動かすことや、しっかりと噛んで朝ごはんを食べること等が効果的です。

(引用:「早寝早起き朝ごはん」全国協議会HPより)